

## 確かな品質の球根と栽培ノウハウを花き農家に伝え、共存共栄を図る

株式会社カド 京都府木津川市

### ■海外から輸入した球根を花き農家に提供

株式会社カド（代表取締役社長：角 裕二氏）は、海外から球根を輸入し、花き（切り花等の観賞用植物）栽培農家に販売する卸売事業者である。

同社は1960（昭和35）年、角社長の父により球根専門の取扱い業者として創業。日照時間の短い日本海側での球根生産が常識であった当時に、あえて暖地での栽培に挑戦。病害虫等の問題を乗り越えて促成栽培の手法を確立し、熊本県芦北町でのアイリス球根産地の形成にも貢献した。しかし、1980年代後半にオランダ産球根の自由化がなされ、生産規模等の違いから国内の球根産地は縮小の道をたどることとなり、輸入球根を中心に花き農家に販売する卸売業へとシフトした。

現在、同社が取り扱うのはユリ、アイリス、フリージア、チューリップ等の花き栽培用球根で、細かく分類すれば約500品種にも及ぶ。世界トップシェアのオランダはもちろん、南半球のチリ、ニュージーランド等からも輸入し、球根を通年供給できる体制を取っている。

### ■高品質な球根と栽培ノウハウの提供が強み

一般的に花き栽培は、単位面積当たりの収入が大きい反面、栽培施設や暖房設備等への投資が必要で生産コストが高く、景気や流行にも売上が左右されやすいハイリスク・ハイリターンな農業とされる。

こうした中、同社は花き農家が安定的に収益を上げられるよう、海外現地に出向いて確かな品質の球根を仕入れ、生育状況に基づく栽培ノウハウとともに提供。農家の目指す収益を勘案した栽培プランを立案、きめ細かな経営指導を行っており、これが他社との差別化要因となっている。

また、球根の保管状態は花きの成長に大きな影響を与えるため、同社は厳格な温度管理を実施し

ている。輸入される球根は、約1か月の船旅の間冷蔵・冷凍コンテナで運ばれ、神戸港への入港後は隣接した冷蔵・冷凍倉庫で保管される。この間、球根の休眠に適した $-1.5^{\circ}\text{C}\pm 0.2^{\circ}\text{C}$ に保たれており、同社はコールドチェーン（低温流通）を徹底し安定した品質の球根を花き農家に届けている。

### ■花き農家との共存共栄を図る

同社では、角社長を筆頭とする営業担当者が、ニーズのヒアリングや栽培・経営指導、生育状況確認のため、全国の取引先と毎年3、4回は面談。このため年間の出張日数は1人あたり100日以上にも及ぶ。新規取引を既存取引先からの紹介に限定しているのも、相互の信頼関係を重視するからこそである。角社長は「当社の販売する球根は決して安くはないが『以前の仕入先よりも売上が上がった』との喜びの声が届いている」と語る。

2012年1月には、球根販売会社らと共にユリの切り花・球根の普及を目指す団体「リリープロモーション・ジャパン」を立ち上げた。角社長は同団体の広報担当として、ユリの多彩な魅力を伝える「アンバサダー」プロジェクト



リリープロモーションのPOPと角社長

トなどを通じてユリの需要喚起に力を入れている。

球根栽培者から花き農家、フラワーショップまでのバリューチェーン構築に向け、角社長の挑戦は続く。

（太田宜志、吉村謙一）

### 株式会社カド

〒619-1112 京都府木津川市加茂町兎並西ノ坊 19-1  
TEL: 0774-76-2230 FAX: 0774-76-6231